

活動方針

一人でも多くの子どもたちに、
人間性の向上のための教育機会と
教育環境を提供する

公益財団法人 School Aid Japanは、
子どもたちの夢を育み、健全な成長を促進するとともに、
将来、自身に備わったすばらしい能力に気づき、
それらを伸ばし、そして、
社会に貢献できる子どもたちを育成することを
目標として、様々な事業を行っています。

カンボジアである学校を視察した時のことです。給食に手をつけない一人の女の子がいました。周りの友だちは、まだスープかけご飯が残っているのに食事を終えています。「ごちそうさまでした!」と挨拶した後、給食に手をつけなかった女の子がポケットからビニール袋を出し、給食をすべてその中へ入れました。周りの友だちも残した給食をそのビニール袋に入れました。女の子はビニール袋を手に、一目散に家に帰りました。聞くと、その女の子の家では、幼い弟妹3人が彼女を待っているということでした。父母はいません。家族のために給食を持ち帰ろうとする女の子の姿も、自然に給食を分け合う友だちの姿も美しい光景でした。その子たちが私に教えてくれたことは、「ものは分け合えば余り、奪い合えば足りない」「幸せは、自分だけのものではなく、自分以外の人と心を重ねることで大きくなる」ということです。

SAJの活動はまさに、「してあげる」のではなく、「学ばせていただく」ことなのだ改めて思います。SAJが15年間継続し、活動の幅がここまで広がったのも、ひとえにご支援いただいた皆様のお蔭です。今後とも、SAJへのご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



代表理事 渡邊美樹 設立15周年記念の挨拶より

費・寄附は全額現地支援費に

皆様からの会費・寄附は、「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

皆様のご支援をお願いいたします。

会員になって支援をする

SAJの活動は、継続してご支援いただく会員の皆様のご協力によって成り立っています。

- 会員会費 (年額) 1口: 12,000円
- 法人会費 (年額) 1口: 12万円

寄附で支援をする

● 一般寄附 (金額自由)
金額の規定はありませんので、お気持ちでご協力ください。

● 使い道を指定する寄附

- ① 学校建設 (1口: 10万円)
開発途上国への学校建設を支援する制度です。
約550万円で、1棟(3教室)が目安です。
- ② ふれあいサポートプラン (1口: 12,000円)
※子どもに制服と学習用具を提供する制度です。
※会員会費を納入いただいた上で、ご参加できます。

インターネットでの寄附が、
便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただく
ことができます。寄附の種類も選べます。

<https://ssl.schoolaidjapan.or.jp/kifu/>

こちらから



会費・寄附金のお振込み

- 郵便局: 00140-5-345903
- 三井住友銀行: 蒲田支店 (普) 4353626
口座名: 公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。
※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先の
ご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

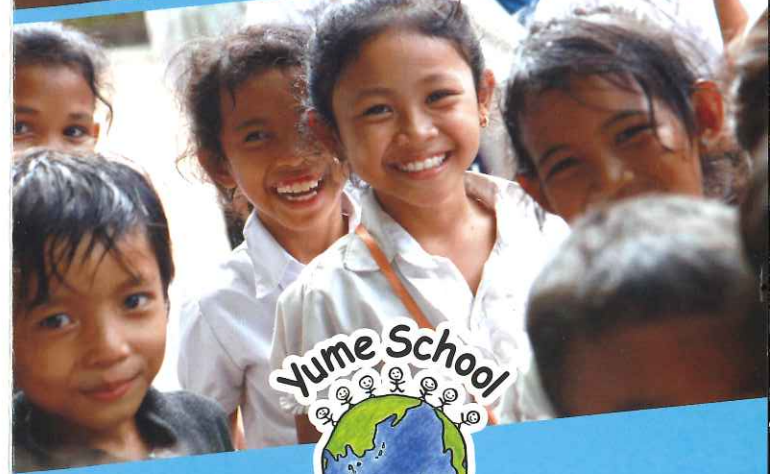
寄附金の 優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。
そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受ける
ことができます。詳しくはお問い合わせください。

公益財団法人 School Aid Japan
本部 〒144-0043 東京都大田区羽田1-1-3
TEL: 03-5737-2773 FAX: 03-5737-2793
Eメール: sajinfo@schoolaidjapan.or.jp
ホームページ <http://www.schoolaidjapan.or.jp>

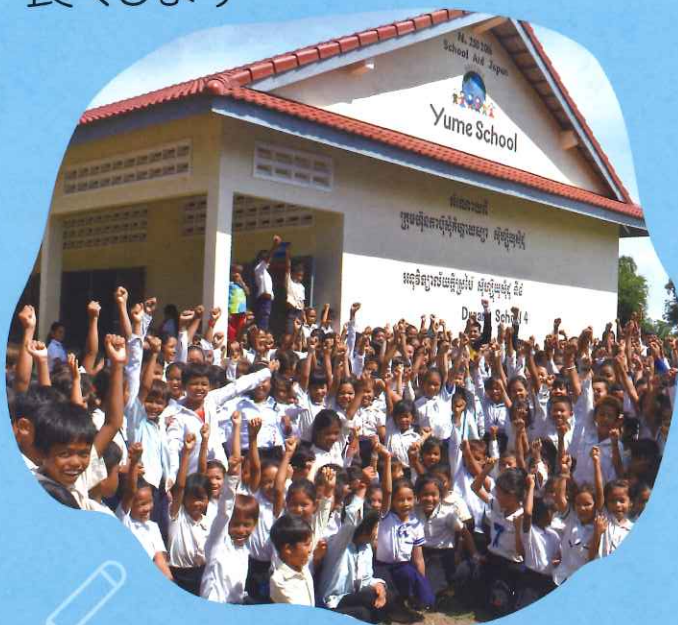
カンボジア、バングラデシュなど
開発途上国の子どもたちへの教育支援を行う
公益財団法人 School Aid Japan

子どもたちの可能性に
ご支援ください





学校を建て、 子どもたちの教育環境を 良くします



288校

2001年度から2018年度までに
建設した校舎の数

93,166人

2018年3月現在、SAJが建設した校舎で
授業を受けている児童・生徒の人数

学校建設支援事業

SAJの教育支援の中核をなすもので「教育環境の向上」を目指し、すべての子どもたちが基礎教育を受けられるように「学校建設」を行います。開発途上国の、「狭く、暗く、かつ危険な校舎」で勉強している子どもたちに、快適な校舎を提供しています。

校舎ができて
貧しい家庭の子どもは
学校に通えない・・・
そのための支援も
あります

【給食支援】

カンボジアのSAJ建設校を国連世界食糧計画(WFP)の給食支援校として申請し、食材の提供を受けて「朝給食」を提供しています。



【ふれあいサポートプラン】

制服や文房具がない等の理由で学校に通えない子どもたちがいます。そんな子どもたちのための「学用品支援制度」です。

【お米支援】

お米を買うために、学校を休んで働くという子どもがいます。子ども一人あたりに毎月10kgのお米を支援しています。



孤児院を運営し、 子どもたちの健やかな成長の 手助けをします



孤児院事業

2008年にカンボジア孤児院「夢追う子どもたちの家」を開園しました。しっかりとした生活習慣を身に付け、自立した人間を育てることを方針としています。地元の小・中・高等学校に通い、園内で補習授業も受け、1日3食の温かい食事をし、元気に生活をしています。



農業で、 就労支援をします。

就労支援(農業)事業

カンボジアは農業大国なので、農業の知識や技術を身につければ何とか生活していくことができます。そのため SAJ は就労支援として農業を選択しました。SAJ 孤児院の子どもや、農業を志すカンボジアの若者に技術を習得させるための実習場として、2012年に、農場(SAJ Farm)を開設しました。



モデル校を運営し 国の教育レベルが 向上することを目指します



学校運営事業

アジア最貧国の一つと言われるバングラデシュでは、小学校を途中退学する子どもが多くいます。卒業しても、中学校や高校がなく、進学をあきらめる子どもも多くいます。また、十分なスキルを持った教師の人数も不足しています。そこで、2013年1月、バングラデシュナラヤンクル村にて中高一貫校NDMHS[※]を開校しました。「その国のモデル校」となるような学校を運営し、教育関係者が見学に訪れることで、教育レベルの向上に貢献できることを目的としています。

※2018年からはNDMSC(Narayankul Dream Model School & College)に改名